

様式 A-1

平成 26 年 7 月 25 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 長野県諏訪清陵高等学校 藤牧 淳
2. 講師氏名: Jan Barta
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 26 年 7 月 22 日 (火) 14:20 ~ 16:20
5. 参加生徒:  1 年生 1 人、 2 年生 31 人、 3 年生 1 人 (合計 33 人)  
備考: SSH 講座の生徒
6. 講演題目: (英文) Chemi-luminescence  
(和文)
7. 講演概要: 講演者の母国チェコ共和国の紹介に始まり、簡単な発光の仕組み、自然界での発光生物の特徴、なぜ発熱を伴わない発光が生じたのか等、実際に有機化合物を用いて発光の実験を行いながらわかりやすく説明していただいた。当初70分の予定を120分に拡大し、熱心に講演をしていただき、生徒も熱心に取り組んでいた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 120 分 質疑応答時間 15 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター PPT を用いた講演 化合物を発光させる実験
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
なし
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
なし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金  
なし

11. その他特筆すべき事項：講師が決定したのが約3週間前であったうえに、講師が多忙で打ち合わせが十分にできないまま講演を迎えた。しかし、フライトの都合で前泊をすることになり、その間本校の生徒の状況や講演の内容について意見交換ができ、実際に当初予定していた内容を大幅に変更し、生徒の状況に合った基本的な内容にいただいた。生徒の英語力の問題もあり、よく理解できなかったという回答が多かったが、実際の所とてもわかりやすい講演をしていただいたと思う。同席していた3名の職員も全く同意見であった。実験も生徒に科学に対する興味を抱かせるのに十分なものであり、担当者として本当に感謝している。